

長崎県福祉サービス第三者評価結果報告

1. 第三者評価機関名

医療・福祉ネットワークせいわ

2. 事業者情報

名称： 歌ヶ浦野の花幼児園	種別： 保育所（認定こども園）
代表者氏名： 園長 藤澤 裕子	定員（利用人数）： 保育園部45名 幼稚園部20名（43名）
所在地： 〒859-6204長崎県佐世保市鹿町町下歌ヶ浦984番地1	Tel（0956）77-5666

3. 総評

◇特に評価の高い点

I. 社会福祉法人蓮華園共通の理念・方針・保育目標に基づき保育が行われています。

蓮華園共通の保育目標（「健康で明るく、何事もやり抜こうとするたくましい子ども」）を掲げ、「目くばり・気くばり・親ごころ」という姿勢で、日々の保育に取り組まれています。そのことは、「明るく、人なつこい子どもの姿」や「送迎時の保護者と職員の会話風景」、「記録の内容」などからもうかがい知ることができます。

外部講師による体育教室や英会話、絵画、剣舞、茶道、水泳教室など、様々な活動にも取り組まれており、漢字絵本遊びや論語、数や文字の学習などを含め、知育・徳育・体育のバランスに配慮しながら保育目標に向けての保育の実践が行われています。

II. 恵まれた自然を活かした保育に取り組まれています。

園の周りにある海や山などの豊かな自然は、子どもたちの健やかな育ちにとって恵まれた環境と言えます。園では、周りの自然環境を活かし、園外活動などを通して四季折々の季節を体感できる保育に取り組まれており、木の枝や実などを用いた製作活動なども行われています。訪問時にも、自然の素材を用いた作品が季節感豊かに壁面を飾っている光景が見受けられました。

また、昆虫などの飼育や野菜などの栽培を通して、小さな命の大切さに触れる機会や、食べ物及びそれを育てる人への感謝の気持ちを育む機会につなげる取り組みも見受けられます。

III. 健康的な身体づくりを目指し、食への関心、興味を育む取り組みが行われています。

年齢に応じたクッキング活動では、子どもたちが栽培、収穫した野菜を食材として用いるなど、体験を通して食べ物への関心や興味を育む取り組みが行われています。また、食育ボードを活用して、子どもたちの食材への意識の高揚を図る取り組みも見受けられます。

家庭との連携にも力を注がれており、給食サンプルの展示のほか、献立表の配付や食育アンケート調査の実施、保護者向け給食試食会の開催などが行われています。乳児の離乳食に関してもシートを用いて家庭と連携しながら進められています。

訪問時には、心地よい音楽の中で、子どもたちが自分たちで作ったランチョンマットを使って給食を食べている姿が見られました。

◇改善を求められる点

I. 実習生の受け入れについて更なる積極的な取り組みを期待します。

実習生の受け入れについては、その意義や方針、受け入れに関する責任体制、手順等を網羅したマニュアルが整備され、積極的に受け入れる姿勢がうかがえますが、民営化後の受け入れ実績は持たれていない状況です。地域的な問題や民営化して間もないことが影響していると推測されますが、次世代の地域子育て支援の担い手となり得る実習生の受け入れについては更なる積極的な取り組みを期待します。

II. 利用者満足の上に向けての姿勢や仕組みの浸透が図られることを期待します。

保護者の意向の把握については、個人面談のほか、行事や給食に関するアンケート調査などが実施され、事業や保育に関する計画への反映及び改善活動につながられています。また、相談や意見についても、仕組みなどが園のしおりで案内され、対応（面談）場所の選定などプライバシーへの配慮も見受けられます。しかし、利用者（保護者）調査においては、「保護者の意向に関する定期的な調査」や「不満や要望への対応」に関して、更なる取り組みが必要といった結果が得られています。

今後は、利用者満足の上に向けた園の姿勢や仕組みが、より保護者に伝わるような取り組みも必要と言えます。

III. ハード面における問題解消に向けての継続的な工夫や配慮を期待します。

園舎は、築年数を経た建物であり、職員の工夫や配慮により快適で安全な保育環境が保たれている状況と言えます。

バリアフリーに関しても、板を用いたのすのこなどで対応されており、保護者の相談スペースや一時保育の空間なども、その時々部屋の活用を工夫して運用されている状況がうかがえます。

園舎を建て替える意向を持たれてはいますが、その実現までには一定期間を要することが見込まれるので、今後も継続して状況に応じた工夫や配慮を重ねられることが求められます。

4. 第三者評価結果に対する事業者のコメント

(H23. 3. 4)

当園が民営化されて2年目という間もない期間の中で第三者評価を受審するという事に、正直に申し上げますと最初は不安もありましたが、第三者評価を終えた今、様々な業務内容の見直しや法人の目指す保育目標の共通理解、マニュアルの再点検など、私にとっても職員にとっても大変意義のある取り組みであったと感じております。

受審をするにあたり保護者の皆様に利用者アンケートを実施させて頂きましたが、アンケートの結果は保護者の方の率直な御意見として真摯に受け止め、今後改善に向け職員と共にアイデアを出し合いながら、よりよい信頼関係を築いていきたいと思っております。

また、当園は老朽化が進み様々な面で不便さを感じながら保育をしている現状ではありますが、お預かりしている子ども達を今できる精一杯の保育環境の中で育ていけるように努力を続けていく所存です。

今回、評価調査者の皆様から、私としては思いもよらず高い評価結果を頂き驚いている次第ですが、この評価はこれからも“努力を惜しまないように”という評価調査者の方のエールとして受け止め、子ども達の最善の利益、そして質の高いサービスの提供のために、職員一丸となって頑張っていきたいと思っております。

5. 各評価項目にかかる第三者評価結果

(別紙)

6. 利用者調査及び書面調査の概要

(別紙)

評価細目の第三者評価結果（共通）

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ-1 理念・基本方針

Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。	第三者評価結果
① 理念が明文化されている。	㊤・b・c
② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	㊤・b・c
評価調査者コメント： 「母の願いを原点に…」という法人の理念の下、理想の子ども像を明文化した保育理念が掲げられ、それをより具現化するための項目として基本方針・保育目標が整理されています。それらは、地域社会のニーズに応じて柔軟に見直されており、園の目指す方向や使命について読み取ることも出来ます。	
Ⅰ-1-(2) 理念や基本方針が周知されている。	第三者評価結果
① 理念や基本方針が職員に周知されている。	㊤・b・c
② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	㊤・b・c
評価調査者コメント： 理念や基本方針は職員会議や園内研修において取り上げ、保育目標と共に周知が図られています。また、園内各所への掲示やホームページへの掲載、園だより、パンフレットなど、様々な媒体を通じた園内外への周知にも努められています。	

Ⅰ-2 計画の策定

Ⅰ-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	第三者評価結果
① 中・長期計画が策定されている。	㊤・ー・c
② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	㊤・ー・c
評価調査者コメント： 制度改革のみならず利用者のニーズも大きく変化する中であって、中・長期計画とそれを踏まえた事業計画が人材育成、施設整備、地域との連携と貢献などを含めて策定されています。	
Ⅰ-2-(2) 計画が適切に策定されている。	第三者評価結果
① 計画の策定が組織的に行われている。	㊤・b・c
② 計画が職員や利用者に周知されている。	㊤・b・c
評価調査者コメント： 策定にあたっては、保護者や職員から寄せられた意見などを踏まえて、職場改善委員会等による検討が行われ、半期ごとの見直しや年度末の検証など、現状分析と課題の抽出に基づく計画策定及び評価、見直しが行われています。 周知については、保護者会や職員会議などにおいて資料を配付したうえでの説明が行われており、朝礼や個別指導などによる職員への周知状況の確認にも努められています。	

Ⅰ-3 管理者の責任とリーダーシップ

Ⅰ-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。	第三者評価結果
① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	㊤・b・c
② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	㊤・b・c
評価調査者コメント： 法人及び園の組織図や職務分掌表に組織における管理者としての立場、役割が明示され、口頭や文書においても自らの役割と責任を表明されています。法令等の遵守に向けても、研修会への参加や法令等のリスト化などから前向きな姿勢がうかがえます。	
Ⅰ-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	第三者評価結果
① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	㊤・b・c
② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	㊤・b・c
評価調査者コメント： 園長就任初年度ではありますが、統括園長の助言を受けながら、「保育内容」「職員の資質の向上」「保護者との信頼関係の構築」「地域との連携」などに真摯かつ熱意を持って取り組まれています。定期的な財務データの把握や分析、職員のバランスなどに配慮しながらの労務管理など、職場改善委員会の活動などを通じて効率化や改善に努められています。	

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 経営状況の把握

Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に対応している。	第三者評価結果
① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	㊦・b・c
② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	㊦・b・c
③ 外部監査が実施されている。	㊦・b・c
評価調査者コメント： 公立から民間への移譲を受けて2年、認定こども園へ移行して1年が経過しようとしている中で、地域の子育てニーズや情報の収集など、事業経営を取り巻く環境の把握に努められています。 経営面に関しても、管理者として与えられた権限の中で、予算執行状況の把握や同一法人内の同種他施設との比較などを通じ、課題の把握や職員との共有が図られており、コスト意識を持って運営にあたられています。また、外部の会計の専門家による指導も受けられています。	

Ⅱ-2 人材の確保・養成

Ⅱ-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	第三者評価結果
① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	㊦・b・c
② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	㊦・b・c
評価調査者コメント： 地域的に人材の確保が困難といった課題を抱えながら、人材の確保、養成に努められています。職員の有する資格や経験、特性などを考慮した人員配置に努めながら、限られた人材の中で子育て支援ファシリテーターや子育てマネージャーの養成、幼児教育の指導者としての人材育成を中・長期計画に掲げて取り組まれています。 職員が自分を振り返る機会は、子どもの最善の利益や保護者満足の向上につながると捉え、その目的や役割が記載されたプリントを配付した上での人事考課が行われています。また、人事考課の結果は、個別の研修計画等にも反映される仕組みとなっています。	
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	第三者評価結果
① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	㊦・b・c
② 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	㊦・b・c
評価調査者コメント： 就業状況に関しては、有給休暇の消化率の把握のほかに、自己申告書による職員の希望や意向の把握が行われるなど就業に配慮する仕組みが見受けられます。また、医師による個別訪問産業保健指導を受けるなど、職員の心身のケアに対しても配慮が見受けられます。福利厚生については、法人で2種類の福利厚生事業に加入されており、職員の希望に応じて選択できる仕組みとされています。	
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	第三者評価結果
① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	㊦・b・c
② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	㊦・b・c
③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	㊦・b・c
評価調査者コメント： 職員の質の向上に関しては、職員育成マニュアルにおいて基本姿勢が明示されています。目標達成シートを用いた個別の目標管理の中で、職員の課題や修得すべきスキルなどを把握し、育成につなげるといった仕組みが構築されており、人事考課や自己申告書、目標管理制度により職員一人ひとりに着目した育成が図られていると言えます。	
Ⅱ-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	第三者評価結果
① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	㊦・b・c
② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	該当なし
評価調査者コメント： 実習生の受け入れについては、マニュアルに受け入れの意義や方針、実習担当職員などが網羅され、積極的に受け入れる姿勢がうかがえます。しかし、地域的な問題や民営化して間もないことから、現在までに受け入れの実績はない状況です。今後は構築された仕組みを大いに活用して実習生を多く受け入れ、次世代の保育人材育成に貢献されることを期待します。 ※②の評価については、実習生の受け入れ実績がないため「該当なし」としています。	

Ⅱ-3 安全管理

Ⅱ-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。	第三者評価結果
① 緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	㊦・b・c
② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	㊦・b・c
評価調査者コメント： 安全確保への取り組みは緊急時も想定し、園長・主任保育士を中心とした体制構築が図られています。ヒヤリハット集に基づく定期的な職員全体への周知活動も行われ、対策後には園長による効果確認も行われています。	

II-4 地域との交流と連携

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		第三者評価結果
① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。		㊤・b・c
② 事業所が有する機能を地域に還元している。		㊤・b・c
③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。		㊤・b・c
評価調査者コメント： 整備されている「地域との交流つづり」などからも積極的に交流・連携に取り組まれ、地域との関係作りに努められている様子がうかがえます。また、「ワクワクキッズくらぶ」と称して、出前保育や園庭開放、育児講座を通じた地域の子育て家庭に対する支援など、事業所の機能を活かした活動にも取り組まれています。 ボランティアに関しては、管理者により事前研修が行われるなどの受け入れ体制が整備されています。		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		第三者評価結果
① 必要な社会資源を明確にしている。		㊤・b・c
② 関係機関等との連携が適切に行われている。		㊤・b・c
評価調査者コメント： リスト化により関係機関や団体等を明示し、連携の記録も残されています。関係機関とのケース会議の内容も、職員間で共有することが望ましい情報については、職員への周知が図られています。		
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。		第三者評価結果
① 地域の福祉ニーズを把握している。		㊤・b・c
② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。		㊤・b・c
評価調査者コメント： 出前保育や園庭開放、育児講座、民生委員等との関わりなど、様々な活動の中で地域の福祉ニーズや子育てに関するニーズが把握され、延長保育や一時保育、学童保育などに取り組まれています。		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		第三者評価結果
① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。		㊤・b・c
② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。		㊤・b・c
評価調査者コメント： 子ども一人ひとりの人権を尊重する姿勢は、法人の理念や保育方針から読み取れ、プライバシー保護や個人情報保護に関するマニュアル、規程なども整備されています。		
Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。		第三者評価結果
① 利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している。		㊤・b・c
② 利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。		㊤・b・c
評価調査者コメント： 利用者(保護者)調査の結果からは、「保護者の意向に関する定期的な調査」について、その取り組みが十分でないといった傾向が読み取れますが、行事及び給食に関するアンケート調査や個人面談などによる意向把握は行われており、それに基づく必要な改善に向けての取り組みも見受けられます。利用者調査の結果には、民営化して2年目ということで、その定期性に疑問が生じた可能性もありますが、利用者満足の向上に向けての姿勢や仕組みの保護者への浸透に関しては、今後の更なる積極的に継続的な取り組みが重要であると考えます。		
Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		第三者評価結果
① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。		㊤・b・c
② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。		㊤・b・c
③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。		㊤・b・c
評価調査者コメント： 相談や意見への対応に関しては、園のしおりでも案内され、面談などの機会も設けられています。相談を受ける際には、内容に応じて空室を活用するなど、プライバシーへの配慮も見受けられます。意見や苦情は、対応マニュアルに基づく迅速な対応に努められ、結果については内容を考慮した上で園便りや掲示板での公表も行われています。しかし、利用者調査の結果においては、「不満や要望への対応」について、肯定的な意見が少ない(他の利用者調査項目に比べて)傾向が見られますので、保護者の心理面への配慮や改善結果の公表などについては更なる取り組みが必要とも言えます。		

Ⅲ-2 サービスの質の確保

Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。		第三者評価結果
① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。		㊤・b・c
② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。		㊤・b・c
③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。		㊤・b・c
評価調査者コメント： 園としての第三者評価への取り組みは、今回が初めてではありますが、同一法人内の同種別事業所の第三者評価への取り組みが共有化され改善活動に結びついています。定められた評価基準を用いた自己評価を定期的実施するための体制としては、職場改善委員会が設置されており、訪問時には評価・分析に基づく改善活動が重ねられている状況がうかがえました。		
Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。		第三者評価結果
① 個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。		㊤・b・c
② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。		㊤・b・c
評価調査者コメント： 標準的な実施方法については、細やかな配慮点などを含めた各種マニュアルが整備され、保育内容検討会やケース会議などで検証と必要な見直しが行われています。		
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		第三者評価結果
① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。		㊤・b・c
② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。		㊤・b・c
③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。		㊤・b・c
評価調査者コメント： サービス実施状況の記録に関しては、詳細な書込みが行われており、内容にバラツキが生じないよう努められています。個人情報の保護に関しては、保護者の意向が把握され、意向に即した取り扱いが行われています。職員間の情報の共有化については、ケース会議を含む各種会議や朝礼などで図られており、議事録や朝礼ノートなどは保管場所が定められ、職員が自由に見ることが出来るようになっています。		

Ⅲ-3 サービスの開始・継続

Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。		第三者評価結果
① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。		㊤・b・c
② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。		㊤・b・c
評価調査者コメント： ホームページや要覧（パンフレット）で、理念や基本方針、園の保育内容などについての情報がわかりやすく提供されています。入園に際しても入園のしおりなどの資料を配付した上で口頭による細かな説明に努め、入園申込書により承諾されサービスが開始されています。		
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		第三者評価結果
① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。		㊤・b・c
評価調査者コメント： 卒園にあたっては、一人ひとりの子どもの年度毎の要録を総括する形で保育要録が作成され、情報が提供されています。また、退園時に活用されている「お別れカード」は、その後も保護者への相談対応や一時保育での継続した関わりが持てるよう工夫されており、子どもの育ちがなめらかに継続できるようにとの配慮がうかがえます。		

Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。		第三者評価結果
① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。		㊤・b・c
② 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。		㊤・b・c
評価調査者コメント： 統一されたフォーマットを用いて、入園時にアセスメントが行われ、定期及び随時に必要事項が追記されています。アセスメントにより抽出された課題は、サービス実施計画に反映されています。		
Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。		第三者評価結果
① サービス実施計画を適切に策定している。		㊤・b・c
② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。		㊤・b・c
評価調査者コメント： アセスメントにより抽出された課題のほかに保護者の意向などを踏まえて指導計画が策定されています。指導計画は、保育内容検討会やカリキュラム会議、職員会議などを経て策定され、定期的に内容の評価、検討、見直しも行われています。		

評価細目の第三者評価結果（保育所）

A-1 子どもの発達援助

1-(1) 発達援助の基本	第三者評価結果
① 保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	a・b・c
② 指導計画に基づく保育実践の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画の見直しを行っている。	a・b・c
評価調査者コメント： 保育課程は、保育理念や保育方針に基づき、地域の実態や保護者の意向を考慮して作成されています。指導計画は、カリキュラム委員会等において毎月評価が行われ保育の実践に活かされています。	
1-(2) 健康管理・食事	第三者評価結果
① 登所（園）時や保育中の子どもの健康管理については、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施されている。	a・b・c
② 健康診断の結果や子どもの発達発育状況を、保護者に伝達すると共に、職員に周知し、保育に反映させている。	a・b・c
③ 歯科検診の結果を、保護者に伝達すると共に、職員に周知し、保育に反映させている。	a・b・c
④ 食事を楽しむことができる様々な工夫を行っている。	a・b・c
⑤ 子どもの成長過程における喫食状況等を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a・b・c
⑥ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	a・b・c
⑦ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、家庭や専門医等と連携し、子どもの状況に応じ、適切な対応を行っている。	a・b・c
評価調査者コメント： 健康管理に関しては、マニュアル及び既往症や予防接種等の記録が整備されています。朝の受け入れ時において保護者から得られた子どもの健康状態に関する情報は、口頭や朝礼ノートにより職員間で共有が図られています。健康診断や歯科検診の結果については個人記録に残し、口頭及び手つなぎノート等で保護者に報告されています。 食事の際には音楽を流したり、子どもの手づくりランチョンマットを使用したりと、子どもたちが楽しんで食べられるように工夫されています。また、年齢に応じたクッキング活動は、収穫した季節の野菜などを用いた取り組みとなっています。 献立は、季節感を大切にしながら行事にちなんだメニューを含めて作成され、食材には地元の旬のものが多く使用されています。保護者向けの試食会や毎日の給食サンプルの展示など、保護者との食の連携にも配慮されています。 アレルギー疾患への対応は、医師の指示に基づき家庭と連携しながら、子どもの心理面にも配慮した除去食の提供が行われています。	
1-(3) 保育環境	第三者評価結果
① 子どもが心地よく過ごすことのできる換気、温度、採光等の環境を整備している。	a・b・c
② 生活の場に相應しい、人、物、場が相互に関連し合う環境とする取り組みを行っている。	a・b・c
評価調査者コメント： 築年数を経た園舎ですが、陽ざしの差し込む明るい保育室となっています。ハード面における問題には、子どもたちが心地よく過ごせるように、冷暖房やカーテンの活用、温湿度計による管理など、保育者としての心配りで対応されています。敷地内の安全点検も定期的実施されており、安全な環境作りに努められています。地域の自然を活かし、落ち葉などを用いた製作物の展示や昆虫の飼育など、自然や季節に応じた環境設定にも配慮されています。	

1-(4) 保育内容	第三者評価結果
① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	Ⓐ・b・c
② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	Ⓐ・b・c
③ 子どもが自発的に活動できる空間、時間、物等の環境が整備されている。	Ⓐ・b・c
④ 身近な自然や社会とかがわれるような取り組みがなされている。	Ⓐ・b・c
⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている。	Ⓐ・b・c
⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	Ⓐ・b・c
⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	Ⓐ・b・c
⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	Ⓐ・b・c
⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	Ⓐ・b・c
⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、乳幼児が安心して生活できるよう、保育の内容や方法に配慮がみられる。	Ⓐ・b・c
⑪ 障害児保育のための適切な環境が整備され、障害のある子どもへの関わりなどが保育計画の中に位置付けられ、保育の内容や方法に配慮がみられる。	Ⓐ・b・c
評価調査者コメント： 保育者の立場と保護者の立場の両方の視点に立ち、子ども一人ひとりの状況に応じて言葉かけが行われ、職員間の連携の下で個々の子どもたちの要求に応じた対応に努められています。 排泄に関しても時間帯は設定されているものの決して無理強いすることではなく、年長児は就学前に排泄リズムが整うように配慮されています。お昼寝も眠くない子どもへは個別対応が行われています。 子どもたちの自発的な活動が可能となるように、年齢毎にその日の活動に応じてコーナーが設けられ、手作り玩具や廃品を活用した「お店屋さんごっこ」など、いろんな工夫が見られます。 子どもたちは、どこにいても広い園庭と大きな樹木を見渡すことができ、四季折々の自然に囲まれた環境の中で、木の実や野の花などを用いた製作活動など、自然とのふれあいを大切にした保育が行われています。また、松浦鉄道で出かける機会を設けられるなど、地域性を活かした活動も見受けられます。 絵本に触れる機会を大切にされ、お昼寝前には必ず職員による絵本の読み聞かせが行われています。また、外部講師による英語遊びや体育教室、絵画教室、剣舞、茶道などにも幼児教育の一環として取り組まれ、保育目標に基づく保育が展開されていることがうかがえます。 常に思いやりや感謝の気持ちが育つように働きかけることを心掛け、異年齢の交流保育や障がいを持つ子どもへの関わりなど、積極的かつ丁寧な取り組みが行われています。性差に関しても、色や将来の希望の職業などについて、固定的な観念や役割意識を植え付けないよう配慮されています。 乳児保育では、シートを用いて離乳食に関する家庭との情報共有が図られ、SIDSに関しても、チェックシートを用いて定期的なチェックが行われています。延長保育時には、異年齢で交流しながら落ち着いた雰囲気の中で保育が行われています。 バリアフリーについては、園舎の状況から難しい面が見られますが、段差の解消など職員の工夫による状況に応じた対応が行われています。	

A-2 子育て支援

2-(1) 入所児童の保護者の育児支援	第三者評価結果
① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	Ⓐ・b・c
② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	Ⓐ・b・c
③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と、子どもの育ちを共有するための機会を設けている。	Ⓐ・b・c
④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。	Ⓐ・b・c
⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	Ⓐ・b・c
評価調査者コメント： 保育参加や保護者会、個別面談、連絡帳など、定期的、日常的な保護者との情報交換に努められ記録にも残されています。 虐待に関しては、マニュアルや関係機関との連携図、連絡網が整備されており、研修にも参加されています。また、虐待に関する情報は、速やかに園長まで届く体制が整っています。	
2-(2) 一時保育等の子育て支援	第三者評価結果
① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	Ⓐ・b・c
② 育児相談など地域の子育て家庭を対象とする子育て支援のための取り組みが行われている。	Ⓐ・b・c
③ 保育所での育児相談に当たって、関係機関や団体などと連携した取り組みを行っている。	Ⓐ・b・c
評価調査者コメント： 一時保育は、同年齢児のクラスにおいての保育を基本とされていますが、状況に応じて個別の対応も行われています。保護者の気持ちに寄り添いながら育児相談にも応じられており、地域の子育て支援の一貫として定期的な出前保育などにも取り組まれています。地域に開かれた園を目指して、関係機関や学校、地域との連携にも努められています。	

A-3 安全・衛生・事故防止

3-(1) 安全・衛生・事故防止	第三者評価結果
① 防災に関するマニュアルが整備されており、その対応方法について、全職員に周知されている。	a・b・c
② 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルが整備されており、その対応方法について、全職員に周知されている。	a・b・c
③ 安全を確保するための施設、設備上の工夫がなされている。	a・b・c
④ 衛生管理に関するマニュアルが整備されており、その対応方法について、全職員に周知されている。	a・b・c
⑤ 食中毒の発生時に対応できるマニュアルが整備されており、その対応方法について、全職員に周知されている。	a・b・c
⑥ 感染症防止に関するマニュアルが整備されており、その対応方法について、全職員に周知されている。	a・b・c
⑦ 感染症発生時に対応できるマニュアルが整備されると共に、その対応方法が全職員に周知されており、発生状況が保護者、全職員に通知されている。	a・b・c
⑧ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取組を行っている。	a・b・c
⑨ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルが整備されており、その対応方法について、全職員に周知されている。	a・b・c
⑩ 発生した事故並びに事故につながりそうな事例を全て把握するための組織的な取り組みが行われている。	a・b・c
評価調査者コメント： 防災や不審者対応に関する各種マニュアルが整備され、外部研修の受講及び園児を含めた教育・訓練などが行われています。不審者に関しては、警察からの情報が速やかに園内に掲示される仕組みがあり、「さすまた」も準備されています。 衛生管理や食中毒、感染症等に関しても、マニュアルが整備され、看護師を中心に検討会や情報提供などが行われています。また、外部研修の受講や迅速な対応のための「嘔吐キット」の準備なども見受けられます。その他、園便りなどによる感染症予防策・対応策に関する情報提供や、発生状況についての掲示、口頭報告なども行われています。 事故防止に関しては、朝夕の安全チェックが行われています。リスクマネジメント会議においては、ヒヤリハット事例の原因究明や対応策の検討が行われており、その効果確認は園長が行う仕組みとされています。また、各種マニュアルについての見直しも行われています。	

長崎県福祉サービス第三者評価 利用者調査結果（保育所）

評価機関名

医療・福祉ネットワークせいわ

事業所名称

歌ヶ浦野の花幼稚園

調査の対象・方法

対象: 保育園部利用の23世帯(保育園部定員の45名の1/2)を評価機関において抽出

方法: アンケート調査

調査票配付: 事業所から保護者に配付

調査票回収: 対象者(保護者)によるアンケートBOX(評価機関設置)への投函

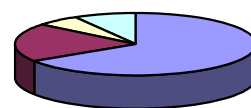
調査実施期間

平成22年11月30日～平成22年12月15日

アンケート結果平均

利用者総数(人)	43
調査対象数(人)	23
有効回答数(人)	17
回収率(%)	73.9%

はい	303件	65.7%
どちらともいえない	93件	20.2%
いいえ	27件	5.9%
わからない	38件	8.2%



総 評

今回は、当該制度において「保育所」としての評価となるため、調査対象を定員総数65名のうち保育園部定員45名の半数と設定し、23世帯の保護者に対してアンケート調査を実施しました。(対象者の選定は上述の「調査の対象・方法」欄を参照下さい。)

アンケートへの協力については、73.9%と非常に高い回収率となっており、保護者の園に関する関心の高さがうかがえます。

傾向としては、全体的に否定的な回答が少なく(「いいえ」の回答数27件のうち10件は「保育所の中で怪我をしたことがありますか。」という質問に対する回答)、肯定的な回答が多く得られたと言えます。

詳細については、「地域における子育て支援」「食事」「施設的环境」「園外活動」「異年齢交流」「送迎時の対話・連絡帳」「行事日程」などの項目において80%を超える肯定的な結果が得られており、利用者満足度は高い水準にあると言えます。

反面、「保護者の意向に関する定期的な調査の実施」については、「いいえ」が「はい」を上回っている状況が見られます。

全体的には、非常に肯定的な回答が多く、「その他自由意見」欄では園の保育等に対する理解や感謝の気持ちが読み取れるコメントも見られるなど、日々の取り組みについて保護者からの一定の評価が得られていると考えられます。

長崎県福祉サービス第三者評価 利用者調査結果（保育所）

事業所名称	歌ヶ浦野の花幼稚園			有効回答数	17人
評価対象	No	質問項目	回 答	回答数	(%)
全サービス共通項目					
保育理念・保育方針	1	保育所が保育を実施する上での基本的な考え方や方針を知っていますか。	はい		12件 70.6%
			どちらともいえない		5件 29.4%
			いいえ		0件 0.0%
			わからない		0件 0.0%
	2	【問1が「はい」の場合】保育を実施する上での基本的な考え方や方針には納得していますか。	はい		9件 81.8%
			どちらともいえない		2件 18.2%
			いいえ		0件 0.0%
			わからない		0件 0.0%
	3	【問1が「はい」の場合】実際に利用してみて、日頃の保育サービスは基本的な考え方や方針と一致していますか。	はい		8件 72.7%
			どちらともいえない		3件 27.3%
			いいえ		0件 0.0%
			わからない		0件 0.0%
職員の対応	4	保育士や他の職員は親切、丁寧に対応してくれますか。	はい		13件 76.5%
			どちらともいえない		4件 23.5%
			いいえ		0件 0.0%
			わからない		0件 0.0%
プライバシーへの配慮	5	「お子さんや自分が秘密にしたいこと」を他人に知られないように配慮してくれますか。	はい		13件 76.5%
			どちらともいえない		3件 17.6%
			いいえ		0件 0.0%
			わからない		1件 5.9%
利用者の意向の尊重	6	保育について保護者の意向に関する調査が定期的に行われていますか。	はい		2件 12.5%
			どちらともいえない		4件 25.0%
			いいえ		4件 25.0%
			わからない		6件 37.5%
	7	困ったことを相談できる職員がいますか。	はい		12件 70.6%
			どちらともいえない		5件 29.4%
			いいえ		0件 0.0%
			わからない		0件 0.0%
苦情受け付けの方法等	8	苦情がある場合の受付や解決の仕組みについて、説明がありましたか。	はい		11件 64.7%
			どちらともいえない		3件 17.6%
			いいえ		1件 5.9%
			わからない		2件 11.8%

長崎県福祉サービス第三者評価 利用者調査結果（保育所）

事業所名称		歌ヶ浦野の花幼稚園		有効回答数		17人	
不満や要望への対応	9	不満や要望を気軽に話したり伝えたりすることができますか。	はい		8件	47.1%	
			どちらともいえない		8件	47.1%	
			いいえ		1件	5.9%	
			わからない		0件	0.0%	
	10	お子さんや保護者の要望・意見をもとに、改善が行われていますか。	はい		4件	23.5%	
			どちらともいえない		8件	47.1%	
			いいえ		1件	5.9%	
			わからない		4件	23.5%	
職員間の連携・サービスの標準化	11	あなたが要望したことが他の職員にも伝わり、理解されていますか。	はい		7件	41.2%	
			どちらともいえない		7件	41.2%	
			いいえ		1件	5.9%	
			わからない		2件	11.8%	
	12	保育士や他の職員の保育姿勢はだいたい同じですか（職員によって言うことやすることに違いがありませんか）。	はい		12件	70.6%	
			どちらともいえない		2件	11.8%	
			いいえ		2件	11.8%	
			わからない		1件	5.9%	
地域における子育て支援	13	地域や家庭（保育所を利用していない家庭も含めた）の子育て相談や交流会など、積極的に保育所の開放をしていると思いますか。	はい		15件	88.2%	
			どちらともいえない		2件	11.8%	
			いいえ		0件	0.0%	
			わからない		0件	0.0%	
事故の発生	14	お子さんが保育所の中で怪我をしたことがありますか。	はい		6件	35.3%	
			どちらともいえない		0件	0.0%	
			いいえ		10件	58.8%	
			わからない		1件	5.9%	
	15	【問14が「はい」の場合】怪我をした後の対応は適切でしたか。	はい		5件	83.3%	
			どちらともいえない		1件	16.7%	
			いいえ		0件	0.0%	
			わからない		0件	0.0%	
利用に当たっての説明 【過去1年以内に利用を開始した場合】	16	この保育所を利用する前に、保育所での生活や保育の内容についてわかりやすい説明がありましたか。	はい		9件	69.2%	
			どちらともいえない		3件	23.1%	
			いいえ		1件	7.7%	
			わからない		0件	0.0%	
	17	実際に利用してみても、説明どおりでしたか。	はい		7件	53.8%	
			どちらともいえない		2件	15.4%	
			いいえ		1件	7.7%	
			わからない		3件	23.1%	

長崎県福祉サービス第三者評価 利用者調査結果（保育所）

事業所名称		歌ヶ浦野の花幼稚園		有効回答数		17人	
個別サービス共通項目							
食事	18	献立や栄養・食べ方などが工夫されていますか。	はい		14件	82.4%	
			どちらともいえない		2件	11.8%	
			いいえ		0件	0.0%	
			わからない		1件	5.9%	
施設の環境	19	お子さんが生活するところは心地よく過ごせる雰囲気ですか。	はい		15件	88.2%	
			どちらともいえない		1件	5.9%	
			いいえ		1件	5.9%	
			わからない		0件	0.0%	
	20	お子さんの発育や意欲を促すような遊具・玩具が十分に用意されていますか。	はい		15件	88.2%	
			どちらともいえない		1件	5.9%	
			いいえ		0件	0.0%	
			わからない		1件	5.9%	
保育内容	21	園外で身近な自然や社会に接する機会は多いですか。	はい		15件	88.2%	
			どちらともいえない		1件	5.9%	
			いいえ		1件	5.9%	
			わからない		0件	0.0%	
	22	お子さん一人ひとりに合わせた豊かな感性を育む活動・遊びが行われていますか。	はい		8件	47.1%	
			どちらともいえない		4件	23.5%	
			いいえ		0件	0.0%	
			わからない		5件	29.4%	
	23	異年齢の子ども同士の交流が活発に行われていますか。	はい		14件	82.4%	
			どちらともいえない		2件	11.8%	
			いいえ		0件	0.0%	
			わからない		1件	5.9%	
	24	お子さん一人ひとりの個性や生活習慣などの違いが尊重されていますか。	はい		9件	52.9%	
			どちらともいえない		4件	23.5%	
			いいえ		0件	0.0%	
			わからない		4件	23.5%	
保護者への育児支援	25	送迎時の対話や連絡帳などで、日々のお子さんの様子を知ることができますか。	はい		15件	88.2%	
			どちらともいえない		2件	11.8%	
			いいえ		0件	0.0%	
			わからない		0件	0.0%	
	26	子育てに関する気がかりな点や悩みについて、相談しやすいですか。	はい		10件	58.8%	
			どちらともいえない		4件	23.5%	
			いいえ		1件	5.9%	
			わからない		2件	11.8%	
	27	保護者が参加しやすいように行事日程が組まれていますか。	はい		14件	82.4%	
			どちらともいえない		1件	5.9%	
			いいえ		1件	5.9%	
			わからない		1件	5.9%	

長崎県福祉サービス第三者評価 利用者調査結果（保育所）

事業所名称		歌ヶ浦野の花幼稚園		有効回答数		17人	
健康管理	28	登園時に、お子さんの様子についての把握・確認がありますか。	はい		12件	70.6%	
			どちらともいえない		5件	29.4%	
			いいえ		0件	0.0%	
			わからない		0件	0.0%	
	29	インフルエンザなどの感染症が発生したときには、発生について説明がありますか。	はい		9件	52.9%	
			どちらともいえない		4件	23.5%	
			いいえ		1件	5.9%	
			わからない		3件	17.6%	

その他自由意見

- ・どの先生方もとても親切で、とてもいい環境だと思います。安心して子どもを預けられます。
- ・園長先生をはじめ、先生方にもとても良くしてもらっています。
- ・この園を選んで本当に良かったと思っています。
- ・先生にもよりますが、毎日子どもの園での様子を連絡帳に細かく書いてもらい、とても分かり易く、先生と交換日記をしているようで何でも書き易かったと思います。全ての先生がそのようにしてくれると子どもが園でどう過ごしているのかが分かるし、面と向かって相談できないことも相談できるので良いと思います。
- ・子ども達のために一生懸命保育をしてくれているとは感じます。
- ・職員の方が忙しい(余裕が無い)と思うことがあります。

書面調査の概要

1. 事業者概要

事業所名称： 歌ヶ浦野の花幼児園	種別： 保育所(認定こども園)
代表者氏名： 園長 藤澤 裕子	開設年月日： 21年4月1日
設置主体： 社会福祉法人 蓮華園	定員： 保育園部45名 幼稚園部20名
経営主体： 社会福祉法人 蓮華園	利用人数： 43名 (30世帯)
所在地： 〒859-6204 長崎県佐世保市鹿町町下歌ヶ浦984番地1	
連絡先電話番号： 0956-77-5666	FAX番号： 0956-77-5667
ホームページアドレス： http://1717sakura.com/	

2. 基本情報

サービス内容(事業内容)： ☐ 延長保育促進事業 ☐ 乳児保育促進事業 ☐ 保育所地域活動事業 ☐ 障害児保育事業 ☐ 一時保育促進事業 ☐ 地域子育て支援	施設の主な行事： ☐ 入園進級式 ☐ 花まつり ☐ 春の遠足 ☐ 保育参観 ☐ 夏祭り ☐ 祖父母参観 ☐ 親子バス遠足 ☐ 運動会 ☐ 焼き芋パーティー ☐ もちつき ☐ 豆まき ☐ 内科検診 ☐ 歯科検診				
施設設備の概要： ☐ 保育室(3) ☐ 便所(1) ☐ シャワー室(1) ☐ 乳児ほふく室(2) ☐ 調理室(1) ☐ 子育て支援室兼職員休憩室(1) ☐ 遊戯室(兼) ☐ 職員室(1) ☐ 園庭(屋外遊戯場)					
職員の配置					
職 種	常 勤	非常勤	資 格	常 勤	非常勤
園長	1		保育士	10	1
主任保育士	1		幼稚園教諭二級	10	
保育士	8	1	准看護師	1	
事務員(兼)	1		調理師	1	
准看護師	1		医師		1
調理師	1		歯科医師		1
嘱託内科医		1			
嘱託歯科医		1			
合 計	13	3	合 計	22	3

※ 資格の種別は、保健・福祉・医療に関するものを表示しています。

※ 複数の資格を有される場合は重複計上しています。重複計上のため職種と資格の人数は一致しません。